

南多摩地域リハビリテーション支援センター 平成 24 年度新人教育研修プログラムの取り組み

東京都地域リハビリテーション支援センター
永生病院 地域リハビリ支援事業推進室

当推進室では、圏域内の病院・施設・事業所の得意分野を、リハビリテーション関連職種の新人教育に活用することを目的に、平成 21 年度より新人教育研修プログラムを開催している。

プログラム内容は、同圏域内にある担当施設の得意分野を中心に、より多くの職種が参加できるよう配慮した。本年度は昨年度に実施したテーマに加えて、新たに摂食嚥下と福祉用具のテーマを取り入れた。

プログラムの全参加者数は 565 名だった。プログラム実施時には毎回アンケートを行い、のべ 504 名から回答を得た（平均回収率 89.2%）。

	テーマ	担当	参加者	回答者
第 1 回	心臓リハビリテーション～心疾患の運動処方・運動療法を中心に～	東海大学八王子病院	150	137
第 2 回	みんな困っているリスク管理～バイタルサインの捉え方～	南多摩病院	117	116
第 3 回	必見！！評価に基づく関節可動域訓練	多摩丘陵病院	34	34
第 4 回	ホンマでっか!? その評価～脳卒中急性期の Facilitation とリスク管理～	北原国際病院	70	54
第 5 回	頰肩部の疾患と その具体的治療法	東京天使病院	88	74
第 6 回	摂食・嚥下障害とりあえず押さえておきたい評価・訓練のポイント	八王子医療センター	35	29
第 7 回	福祉用具の基本の“き”	永生病院	31	26
第 8 回	これだけは知って欲しい介護保険	地域包括支援センター	40	34

第 1 回は東京都理学療法士会主催のため回答者の職種に偏りがあったため、解析には第 2 回から第 8 回の結果を用いた。

アンケート回答者の職種内訳は、PT56.1%・OT34.2%・ST6.5%・その他 3.1%と昨年度（PT55.2%・OT31.3%・ST8.4%・その他 5.1%）とほぼ同様だった。職種別にみると、PT・OT・ST の割合が最も高かったテーマはそれぞれ脳卒中急性期（第 4 回）・福祉用具（第 7 回）・摂食嚥下（第 6 回）だった。

職種毎の割合の高かった各テーマにおける、それぞれの職種の満足度の結果は、何れも満足と答えた割合が半数以上だった。初めて得た知識の割合の最頻値は、脳卒中急性期での PT の回答は 7 割、福祉用具での OT の回答は 5 割・7 割、摂食嚥下での ST の回答は 1 割・2 割と、テーマ毎に差がみられた。

今回のアンケート結果を踏まえ、来年度も、よりよい新人教育研修を企画していきたい。